

国営かんがい排水事業

あばしりがわ ちゅうおう

「網走川中央地区」



地区の概況

本地区は、北海道オホーツク振興局管内の網走郡美幌町、大空町に位置する2,289haの農業地帯で、もち米を主体とする稲作と、小麦、ばれいしょ、てんさいの畑作3品を主体にたまねぎ、野菜類を加えた畑作による営農が展開されている。

地域で生産されたたまねぎ、ばれいしょは、美幌地方広域農業協同組合連合会（美幌広域連）により、全国各地に向けて出荷されている。

水稻の収穫状況



【生産】



たまねぎの収穫

【集荷】



美幌地方広域農業協同組合連合会

【選果・出荷】



たまねぎの選果、出荷

地区の現状と課題

基幹施設である西幹線用水路の一部では雪荷重、凍上圧により、コンクリート側壁の傾倒やひび割れ、漏水等が発生している状況にある。

また、西幹線頭首工は、造成後30年以上が経過し、水門設備は標準的な耐用年数（30年）を超過している状況であり、ゲートは漏水が発生している状況にある。

畑作は降雨に依存した営農により作物生産が不安定な状況である。

【西幹線頭首工】



ゴムの劣化によるゲートの漏水状況

【西幹線用水路】



側壁の傾倒状況
（切梁により応急対応）

【作付現況】



【てんさい干ばつ状況】
（H25.7撮影）

事業目的

本地区の営農は、てんさい、ばれいしょ等の畑作物を主体にたまねぎなどの野菜類、水稻を導入した営農が展開されているが、畑作は降雨に依存した営農により作物生産が不安定な状況である。また、水稻は近年の栽培技術に必要な用水手当がされていない。

一方、用水施設は、コンクリートのひび割れ、水路側壁の傾倒等の発生により、農業用水の安定供給に支障を来している。このため、本事業において用水施設の整備を行い、既得水利権の用水再編により、農業用水の安定供給を図るとともに、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

事業実施前

劣化が進行し、施設が倒壊・破損する



かんばつ被害を受け、地域の農業に影響



★用水施設の劣化が進行し、倒壊により用水の安定供給が図られない。

★かんばつ時に作物収量の低下を招いており、不安定な状況が続く。

事業実施後

【用水施設の改修状況】



劣化が進行した施設の改修による用水の安定供給

【地区内での畑かん散水】



畑地かんがい導入による農業生産性の向上

★農業生産性の維持

既存用水施設の更新により、年間約6千トンの作物生産と約4億円の農業粗収益を維持

★農業生産性の向上

畑地かんがい施設の整備により、年間約14千トンの作物生産と約6億円の農業粗収益が増加

事業概要

- 関係市町村：網走郡美幌町、同郡大空町
- 受益面積：2,289ha
(水田1,082ha、畑1,207ha)
- 事業工期：平成29年度～
- 主要工事：頭首工（改修）1箇所
 用水路 4条 29.8km
 （開水路15.9km、管水路13.9km）
- 主要作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ばれいしょ、
 てんさい、たまねぎ、ブロッコリー、
 セルリー、にんじん

産地収益力向上に向けた「たまねぎ」の輸出強化

【美幌広域連におけるたまねぎ輸出実績】



美幌広域連では近年たまねぎの輸出にも手がけており、主な輸出先として台湾や韓国へ出荷を増やしている。
たまねぎの安定生産出来る環境を整えることが産地収益力の向上に繋がっている。

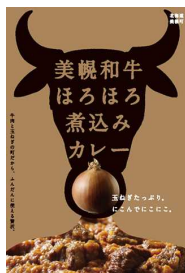
地域の特産品



たまねぎドレッシング



にんじんジュース



たまねぎ等を用いたカレー



小麦を用いたうどん



ばれいしょ等を用いたコロッケ